

チャレンジ工房News

第5号

平成23年8月発行

発行先

パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

工房の日々

～3年間の学習計画立てました～

1年目

- ・word/Excel 基礎/応用
- ・word/Excel ドリル
- ・インターネットとEメール
- ・パソコン基礎 / 応用
- ・画像加工
- ・ブログ作成
- ・名刺・チラシデザイン

2年目

- ・CD・DVDへの書き込み
- ・動画入門
- ・PowerPoint基礎
- ・Photoshop 基礎
- ・Dreamweaver 基礎
- ・ホームページの作成更新

3年目

- ・パソコン上級
- ・Illustrator入門・基礎・応用

8月・9月の予定

8/12(金)～8/20(日) 夏期休業

夏場の一番暑いとされているお盆前後の10日間、所員・スタッフとともに心身のリフレッシュを図ることを目的とした夏期休業を取らせて頂きます。

9/13(火)

わっしょいカーニバル参加

13:00～15:00 尼崎中央公民館



工房が設立したからはや4ヶ月が過ぎようとしています。

多くの所員のみなさんはword・Excelともに基礎・応用の4冊のテキストを終わられ、今wordやExcelのドリル・word・Excelの基礎の腕試し問題に個々のペースで取り組まれております。

スタッフで話し合い3年間でwordの基礎からIllustratorの応用までの技術や知識が身に着くような学習計画を立てました。

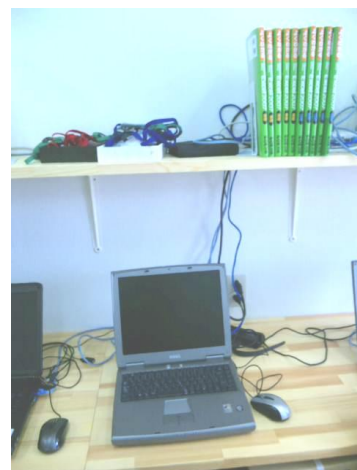
所員の皆さんには、個々のペースを大事にして、あまり個人研修計画表を気にすることなく、一つひとつの学習内容をわかるまで繰り返しやりながらも、確実な知識や技術として習得して頂きたいです。

整理の棚が出来ました・・・

コンピュータや教材を置く机板の上が狭くて困っていましたが、机板の上に整理のための棚を作るととても便利になりそうだと、兵庫県の補助事業「地域活動支援センター設備整備事業」に応募していましたところ、補助の内示が出ました。

さっそくパソコン工房の内装工事にお世話になった「(有)エムズカンパニー」に発注することになり、7/30に工事が完了しました。

「机の上がすっきりした」と大好評でした。



納涼カラオケ大会を行いました・・

7月25日にスタッフの佐々木さんからカラオケ機器をお借りして、納涼カラオケ大会を行いました。納涼カラオケ大会を企画するにあたり、地域の方にも気軽に取り入りで参加してもらおうと思い、工房の掲示板に「地域の方の飛び入り参加歓迎」と書いたポスターを貼り、地域の方の飛び入り参加を大歓迎する雰囲気を作り出しながらの開催になりました。

平日に開催したこともあり、地域の方の参加は残念ながらありませんでしたが、ニュースを見て、杭瀬の女性の方が来て下さったり、6月に体験実習に来ていたHさんも参加してくれました。

「石川さゆり」などの演歌から「嵐」の今どきの曲まで、幅広い世代やジャングルの曲が参加者の歌声によって工房全体に響き渡りました。



参加者が歌った曲目

まだ見ぬ世界へ	嵐	大阪ラブソディ	海原千里・万里
静かな夜に	大野智 嵐	銀座の恋の物語	石原裕次郎
M i s i aメドレー		すきま風	杉良太郎
Hold On Me	小比類巻かほる	汽笛	五木ひろし
壊れかけのR a d i o	徳永英明	昔の名前で出ています	小林 旭
約束の橋	佐野元春	雨の大阪	三門忠司
雨の物語	イルカ	雪國	吉 幾三
雨の御堂筋	欧陽菲菲	望郷酒場	千昌夫
愛人	テレサ・テン	河内男節	中村美津子
		天城越え	石川さゆり

わっしょいカーニバルへ参加しましょう

4年前、市内の小規模作業所や地活センターが集まり、みんなで情報を交換し、手をつないで作業所などが置かれている経営などの苦境をのりきろうと「小規模作業所尼崎連絡会」ができ、実態調査をはじめなどさまざまな連携をしてきました。

わたしたちパソコン工房も4月よりお仲間に加えていただき、月1回の連絡会で貴重なアドバイスをいただいています。

楽しいことも企画しようと今年で4回目になりますが、年に一度みんなで集まり、それぞれの作業所やセンターから出し物を準備して披露します。いつも大笑いの楽しい1日です。

9月13日(火) 1時～3時

尼崎市中央公民館 3階大ホール

今から1ヶ月あります。

みんなでなにか練習して、楽しく参加しましょう。

東北の障害者のための募金活動に参加しました・・・

4月に引き続き、市内の障害者団体や関連団体で東北の被災した障害者を支援するための募金活動を市内の主要な駅で行いました。

パソコン工房として、阪神尼崎駅前の募金活動に所員さん1名とスタッフ2名で参加してきました。募金の当日はあいにくの雨だったので、普段より人通りが少なく感じましたが、一度は通りすぎた後、募金するために、また引き返し来て、募金をして下さる方や、精神の障害を持つ方で「僕も障害者だから大変な思いをしていることは分かるから、この募金は、被災した障害者の方へ絶対に届けてね」と言われながら募金して下さった方もおられます。その一人ひとりの思いが、被災地の一日でも早い復興につながっていただければと思います。

[夢の風基金]など実際に被災した障害者を支援してる団体に一団体につき、101,615円を送らせて頂きました。